

四
發行方法
三
用振等替法の適
の法發号名
の法律行稱
項及の及
び根び
そ拠記
二
条件平成
件成等
成二十
等三十
省告示
第十三
債三十
務省告
省告示
行示第

五

ハ 口 イ
方 募

入価・別債行争非者特国札非	入価法入
札格第参市及入価・別債発競	札格 決
発競Ⅱ加場び札格第参市行争	発競 定
行争非者特国発競I加場 入	行争 の

込募各割各当も各
み限國り申ての申
の度債當込るか込
応額市てみ。らみ
募の場るの その
額範特。応のう
を囲別 募 応ち
割内参額 募応
りに加を額募
当お者案を価
ていご分順格
るてとに次の
。各のより割高
申応りりい

争市る参てしひ価一を場で競競と
入場も加、た価格國定特あ争争す
札特の者財後格競債め別つ入る
発別にご務に競争市る参て札札も
行參よと大行争入場も加、と發の
一加るに臣わ入札特の者財同行に
と者發応がれ札發別にご務時一よ
い・行募各の行參よと大にとる
う第へ限國る募一加るに臣行い發
。II以度債入と者發応がわう行
非下額市札のい・行募各れ。以下
価一を場で決。う第へ限國る、
格國定特あ定一I以度債入価一
競債め別つを及非下額市札格非

七
イ
拵

二

八

四

六 発

入 価	込 行 争 非 者 特 国 行 争 非 者 特 国	札 非	入 価	
札 格	入 価 • 別 債	入 価 • 别 債	發 競	札 格 行
發 競	札 格 第 参 市	札 格 第 参 市	行 争	發 競
行 争 額	發 競 II 加 場	發 競 I 加 場	入	行 争 額

十 口 イ 一	九 八	二	ハ 口
債行争非者特国札非入価發 市及入価・別債發競札格行行 場び札格第参市行争發競価 特国發競 I 加場、入行争格日	振額最 替額單面位金	低行争非者特国行争非者特国札非 入価・別債發競札格第参市行争 札格第参市行争發競 II 加場	發競 I 加場入
額上額	平す額の振	五	千円九
面の面	成るの記替	万	九十
金そ金	二。整載法	円	百二
額れ額	十数又の		十四億
百ぞ百	三倍は規		九千
円れ円	年の記定		億七三
にのに	十金録に		七百
つ応つ	月額はよ		四百
き募き	七に、る		四十
百価百	日よ最振		四万円
円格円	る低替		五十六
四二	も額口		十万六千
錢錢	の面座		
以	と金簿		

は期た期平
 、が金と成控得は出に住時額金にの口るに
 そ銀額し二除税外しは者にへ額よに座も係發
 の行を、十すの国た、又おたにりつにのる行
 翌休支次四る税法金前はいだ百算い記と所時
 営業払の年こ率人額記外てし分出て載し得に
 う算三とをがに(一)國取、のしは又て税お
 日。式月が乗適当の法得当二た、は振がい
 ににたに二でじ用該算人す該十金前記替源て
 支當だよ十きたを非式でる國を額記録口泉、
 払たしり日る金受居にあ者債乗か(一)さ座徵そ
 うる、算を(一)額け住よるがをじらのれ簿収の
 へと支出支(一)る者り場非発た当算る中さ利
 以き払し払を所又算合居行金該式ものれ子

$$\frac{\text{額面金額の総額} \times 1.0}{100 \times 365} \times 17$$

(二)

(一)年

む十式は一
 も号に、募・
 のによ払入○
 と規り込決パ
 す定算金定一
 るす出額のセ
 るしに通ン
 期た加知ト
 日金えを
 に額、受
 払を次け
 い第のた
 込二算者

二 十 十 十 十
十 九 八 七 六 五

払	者	入	払	元	償	償	後	第
込		札	場	利	還	還	の	二
期		参	所	金	金	期	利	期
日		加		支	額	限	子	以

毎年三月二十日及び九月二十日を支払期とし、各支払期におい
て、その日以前六月間に属する利子を支払う。〇

額面金額百円につき百円

日本銀行

平成十三年九月二十日

財務大臣から通知を受けた者

平成二十三年十月七日

下、次号及び第十六号において規定する期日について同じ。)。